

☆ アルピオン、「エクシアAL」ラ
 ~新美容理論を武器に市場拡大を猛
 ☆ ファミリーマ

美白化粧品素材のハイドロキノン上市

- ☆ ホーラ美術館が日本建築学会2004年作品選考
- ☆ カネボウが新任役員の内付及び職務を決定
- ☆ 資生堂、厚生年金基金の代行部分返上
 ~平成16年3月期決算修正~
- ☆ 産官学共同研究で新美白原料の製造に成功
- ☆ ホーラ美術振興財団が平成16年度助成金贈呈式を開催

☆ 産官学共同研究で新美白原料

環境経営研究所（横浜市港北区：横山渉代表取締役）
 美白原料「ハイドロキノン」を開発した旨発表した。
 これは、経済産業省が平成13年度地域即効型コンソ
 イドロキノンを使用した美白剤の研究が行なわれてい
 キノンは物質的に不安定で紫外線、酸素などによる影
 膚への刺激が強く化粧品配合には課題が多い物質であ
 今回開発された「安定型徐放性ハイドロキノン SHQ
 ので、①紫外線、酸素に対して安定②ハイドロキノン
 どへの優れた脱色効果などの特長をもっている新美白
 この研究成果を受けて、研究メンバーであった新潟
 製造を開始。平成16年4月より環境経営研究所により
 もともと美白化粧品成分のアルブチンは、ハイドロキ
 後は「安定型徐放性ハイドロキノン SHQ-1」により身
 が期待される。

☆ ホーラ美術振興財団が平成16年

ハイドロキノンを安定化

新化粧品原料の供給開始

環境経営研究所

「安定型徐放性ハイドロキノン」の供給を開始する。海外製、環境経営研究所（本社：横浜市港北区、横山渉代表取締役）は、4月より、安定型徐放性ハイドロキノン成分を少量ずつ放出する「安定型徐放性ハイドロキノン」を開発した。従来のハイドロキノンでは、紫外線や酸素による不安定化が課題となっていたが、今回開発された「安定型徐放性ハイドロキノン」は、紫外線や酸素による不安定化が抑制され、皮膚への刺激も軽減された。この原料は、化粧品メーカーへの供給を開始する。環境経営研究所は、化粧品原料の開発に力を入れており、今回の開発は、同社が持つ技術の結晶である。また、この原料は、化粧品メーカーへの供給を開始する。環境経営研究所は、化粧品原料の開発に力を入れており、今回の開発は、同社が持つ技術の結晶である。

環境経営研究所
 化粧品原料の開発
 安定型徐放性ハイドロキノン
 供給開始

環境経営研究所
 化粧品原料の開発
 安定型徐放性ハイドロキノン
 供給開始